

十月は講演会、十一月はいずみ園祭

9周年迎えた いずみ園

宮田島運動場の隣にある「いずみ園」が九周年を迎える。毎年十一月のいずみ園祭は、ここに来ていた障害者（通所者）の作品販売や音楽会が開かれ、フリーマーケットなどで賑わう。いずみ園は、身体障害者通所授産施設といい、社会福祉法人緑の会が運営する。県立の養護学校の卒業生を受け入れ、四十名が送迎バスで通勤している。こういう施設は柏にはここだけである。



㊦滝本理事長 ㊤食事の様子 ㊤㊦いずみ園の外観



さあ、音楽会だ！ みんなでそろって歌おうよ（十二年）

作業所という大広間（講堂に見える）に、縫製科、紙粘土工芸科、皮革工芸科、園芸科があり、通所者が職員やボランティアと一緒に働いている。「障害者は一人では生きられません。どうしても健康者の手を借りなくてはなりません」と、理事長の滝本二三江さんという。介護体験学習の高校生や大学生が手伝う。地域の人たちがボランティア参加する。みんなが生きることの尊さを体験している。

十一月十八日のいずみ園祭の前に、十月五日には、今年がボランティア国際年であることから、麗澤大学の水野治太郎教授の講演（開演十時）などがある。無料。

いずみ園は、いつも見学大歓迎である。寺島文化会館から絵などが提供されていて観賞できる。

逆井漫歩36

（平成13年9月）

いつでも見学できます